

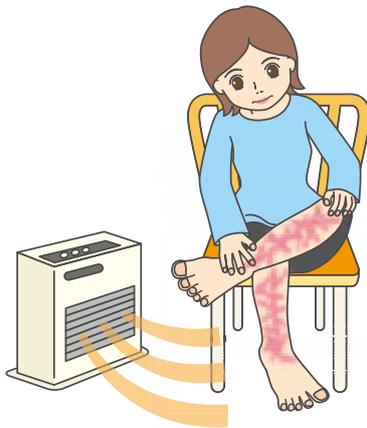


春になったら足に赤みのある 網目状のものがあるのに気づきました

熱刺激による「温熱性紅斑」の疑いがあります

立川皮膚科クリニック

www.tachikawa-derma.com



温熱性紅斑 の症状

足のひざから下の皮膚、ひざの周辺だけとさまじい赤みを帯びた網目状のものが出現することがあります。次第に褐色に色素沈着をおこします。

この症状について、日「原因は？」

本皮膚科学会認定皮膚科専門医・立川皮膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。

「温熱性紅斑」の疑いがあります。火だこともよばれ、網目状のものは毛細血管です。部位は足の片側だけ、外側だけ、

「赤みが強く、炎症を起しているときはステロイド剤の塗り薬を処方します。色素沈着を防ぐためにビタミンCなどの内服薬を処方することもあります。また、似た症状の疾患があるので、的確な診断が必要です。まずは医師に相談を」

「熱刺激を長時間受け続けたことが原因です。冬の間、机の脚元に温風ヒーターやハロゲンヒーターを置いて仕事をしたタリ、ホットカーペットや赤外線たつで寝るなど長時間、温熱機器を利用することにより発症する

「治療方法は？」

「赤みが強く、炎症を起しているときはステロイド剤の塗り薬を処方します。色素沈着を防ぐためにビタミンCなどの内服薬を処方することもあります。また、似た症状の疾患があるので、的確な診断が必要です。まずは医師に相談を」

042(843)1377



診察時間 休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受付	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受付	17:30まで受付

院長：伊東秀記 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科 非常勤講師

2015年3月21日付 「リビング多摩」に掲載されました